



ミカン科の落葉高木で、枝や幹にはトゲがあります。知多半島には多く自生していて、4種類ものアゲハチョウ類の幼虫の餌植物になっています。実はメジロなどの野鳥がついばみます。

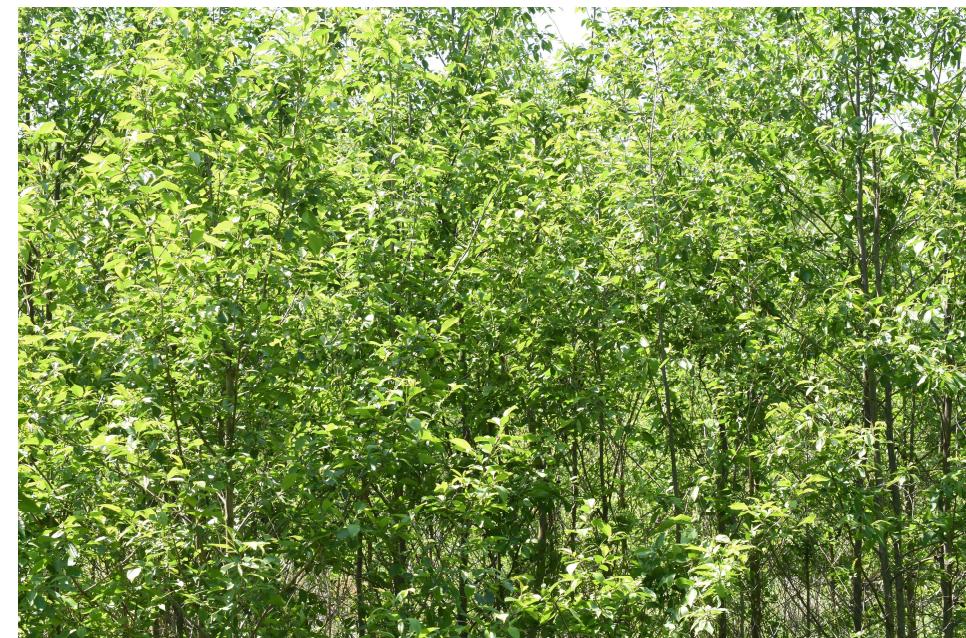
カラスザンショウ(ミカン科)の実と幹(右)

2022.10.21(実) / 2017.3.4(幹) 美浜町時志



クロバイ(ハイノキ科)の花
2019. 4. 30 美浜町オレンジライン

春～初夏に枝いっぱいに雪をかぶったように白い花をつけます。
鍋山やオレンジライン付近にもたくさん自生しています。



ハンノキ林
2016. 4. 30 オレンジライン

ハンノキ(カバノキ科)
(雄花)
2017. 2. 16 美浜町
オレンジライン沿道

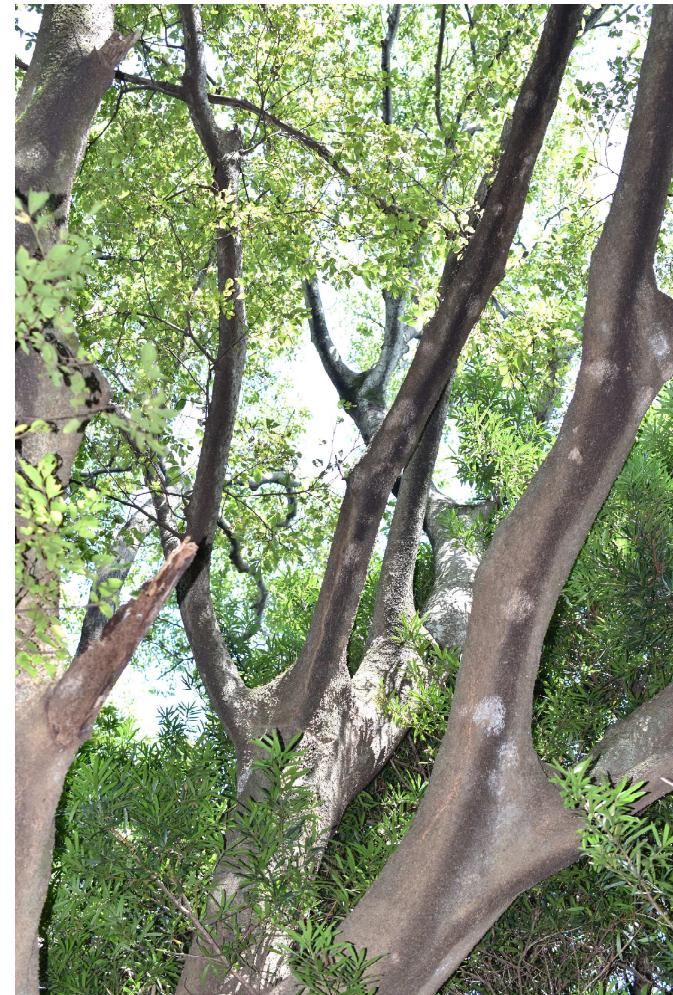
落葉高木で、春に最も早く開花する植物の一つです。美浜町には多く自生しています。ミドリシジミやオナガミズアオ(ガ)の幼虫の餌植物です。



カクレミノ

2023.12.2 美浜町
オレンジライン

ウコギ科の常緑小高木で、
ウバメガシなどの常緑広葉樹の下に自生します。
日陰を好む陰生植物(陰樹)です。オレンジライン沿いにはたくさん自生しています。タテジマカミキリが食べる木です。



2020. 12. 3
オレンジ
ライン(直
径1mを超
える大木)

エノキ(アサ科)

2015. 10. 3 美浜町オレンジライン

落葉高木で、ゴマダラチョウ、テ
ングチョウなどエノキ類しか食べ
ない昆虫も少なくありません。
昆虫類の多様性を支える木です。



コクラン(ラン科)の花
2023.7.3 美浜町布土小学校付近

野生のランで、ウバメガシ林などの林床に自生しています。6~7月頃に濃い紫色の花を咲かせます。布土小学校近くの林内には100株余りのコクランが群生しています。



旅をするチョウとして知られています。美浜町でも毎年10月頃にヒヨドリバナやセイタカアワダチソウなどの花で、蜜を吸うこのチョウが観察されます。

アサギマダラ(ヒヨドリバナで吸蜜)
2020.10.13 美浜町オレンジライン沿道



成虫で越冬する
チョウです。土手
の草むらでよく観
察できます。年に
数回羽化します。
幼虫はハギやネム
ノキなどの葉を食
べます。

キタキチョウ(畑の土手の草むらで越冬する成虫)
2020.3.6 美浜町布土小学校付近



アカシジミ

2016. 6. 2 美浜町オレンジライン

翅の表も裏も全体が
オレンジ色のシジミ
チョウです。成虫は
年1回、初夏に羽化し
ます。ミドリシジミ
などとともにゼフィ
ルス(そよ風)と呼ば
れる里山を代表する
チョウです。幼虫は
ウバメガシ、コナラ、
カシ類などの葉を食
べ、卵で越冬します。



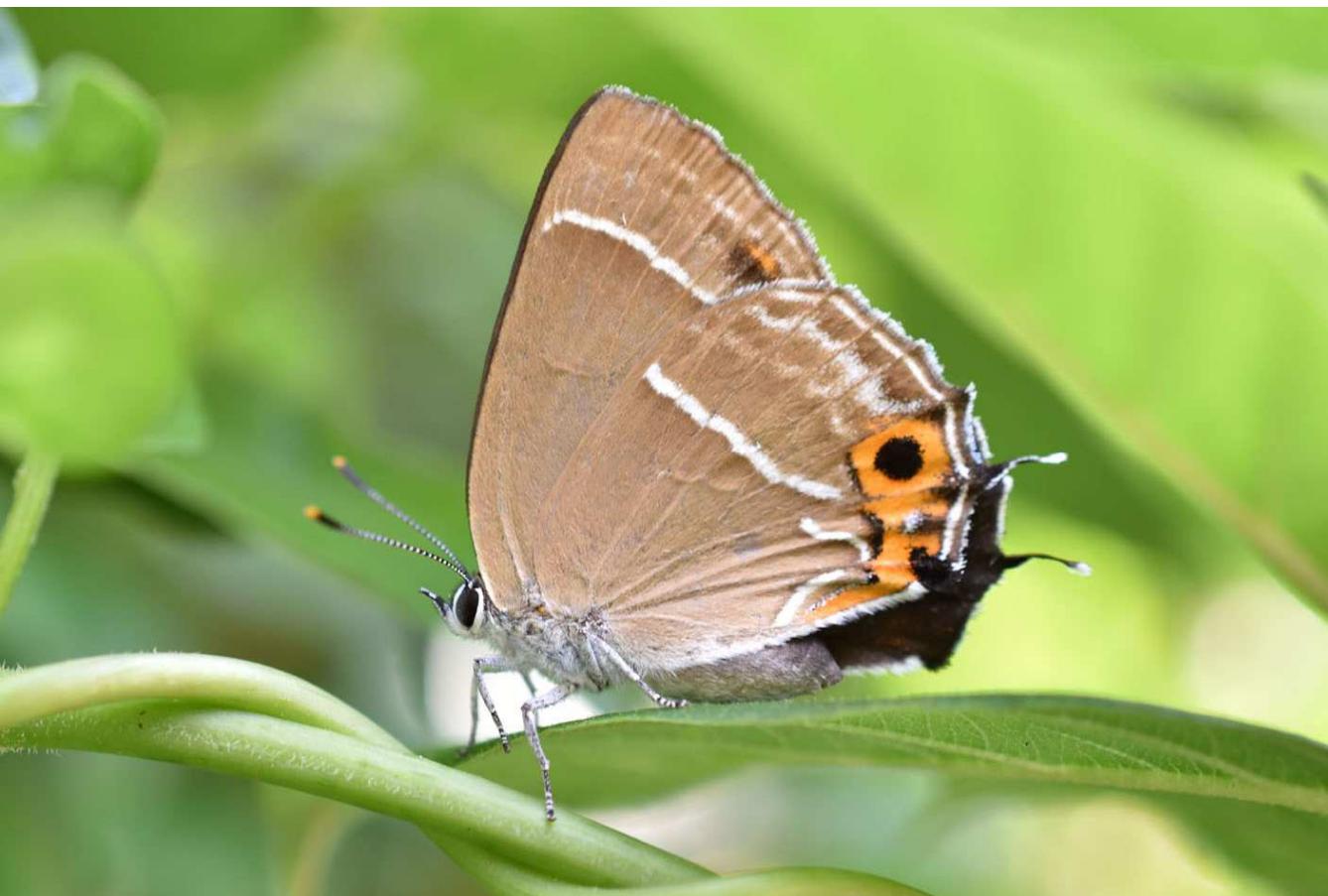
カラスアゲハ♂
2015.7.24 美浜町時志

大型のチョウで、翅の表は緑色や青色に輝きます（特に♂）。年に2~3回羽化します。幼虫はカラスザンショウなどミカン科植物の葉を食べます。



ウラギンシジミ（ウバメガシ
の葉裏で越冬する成虫）
2020.1.5 美浜町オレンジライン

翅の裏が銀色のチョウで、成虫で越冬します。ウバメガシやツバキ、ヒサカキなどの常緑広葉樹の葉裏に冬中、止まって春を待ちます。越冬成虫はオレンジラインでもよく観察できます。幼虫はクズやフジの花やつぼみを食べます。



ミドリシジミ
2015.6.13 美浜町
オレンジライン沿道



ミドリシジミ(卵)
(ハンノキの枝に産卵)
2020.12.3

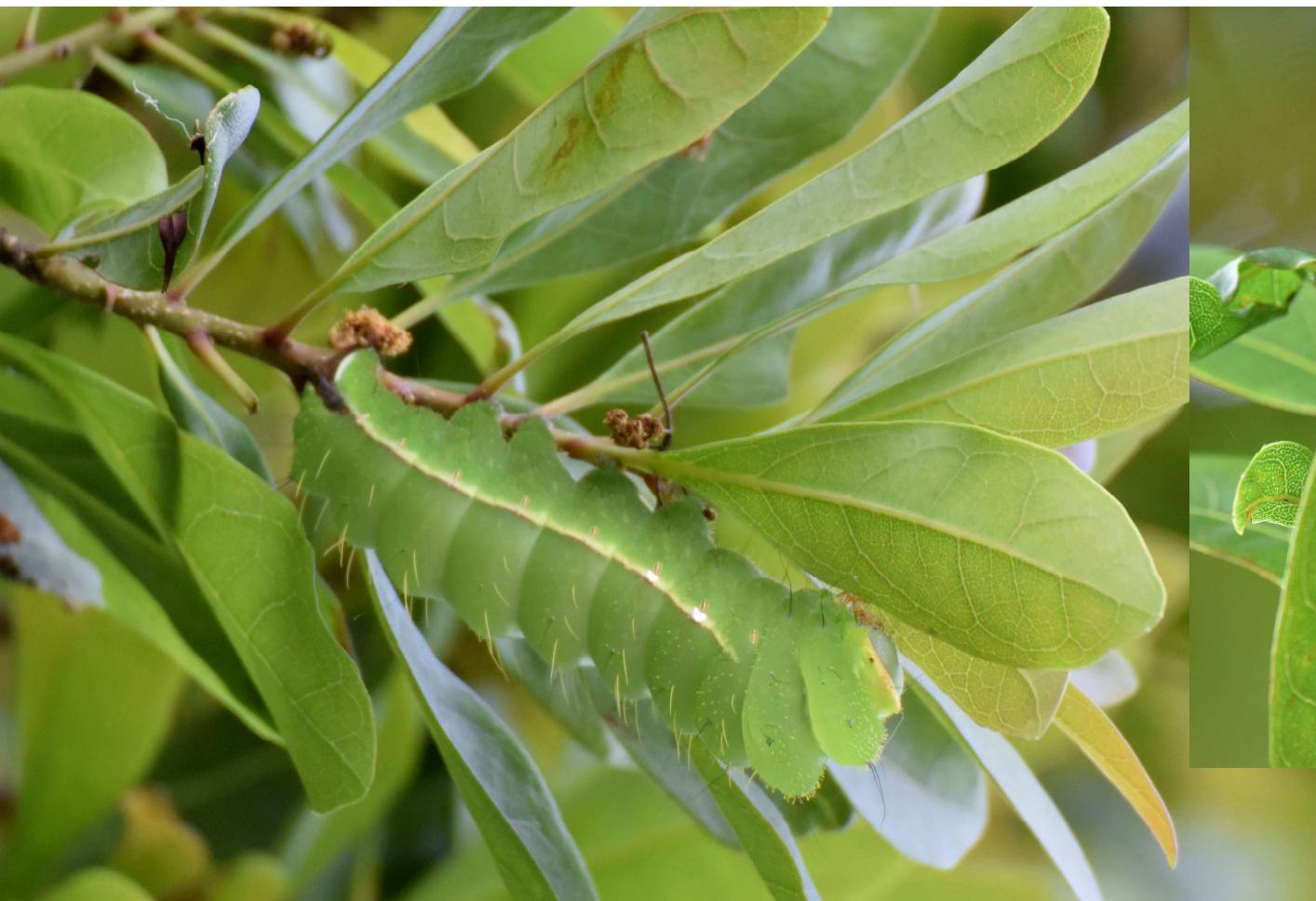
美浜町布土小学校付近

小型のチョウで、幼虫はハンノキの葉を食べます。成虫は年1回6月頃に羽化します。♂の翅の表は緑色に輝きます。雌は黒褐色に青などの紋。



ヤママユ
2017.9.2 美浜町オレンジライン

翅を広げると12~13cmほどの大きなガです。成虫は年1回9月頃に羽化します。幼虫はウバメガシ、クヌギ、コナラ、ヤマモモなどの葉を食べ、緑色の上質の繭を作ります。



ヤママユ幼虫(ヤマモモの枝で)
2017.6.17 美浜町時志

ヤママユ繭
(ヤマモモ)
2017.7.19
美浜町時志

成虫



イボタガ

幼虫



2020. 3. 25

美浜町オレンジライン

2022. 6. 1

大型のガで、成虫も幼虫もグロテスクですが、無毒です。成虫は年1回早春に羽化し、幼虫はイボタノキ、ネズミモチなどの葉を食べ、蛹で夏～冬を越します。オレンジラインには多産します。



キノカワガ(サクラの幹で越冬中の成虫) 2019.12.29 美浜町オレンジライン

名前のように翅の色は木の皮そっくりで、うまく隠れています。成虫で越冬し、特にサクラなどの幹に止まって越冬し、オレンジラインのサクラの木でも越冬中の成虫をよく観察できます。幼虫はカキノキの葉を食べます。



体長4mmほどの小さいテントウムシですが、ミカンの害虫のカイガラムシを食べてくれる天敵です。



ベダリアテントウ
2016.4.30 美浜町オレンジライン



ナナホシテントウ
2016.2.18
美浜町布土

翅の一番前の黒い紋はハート型をしている子が多いです。写真データのように土手の草むらでは冬でも活動しています。

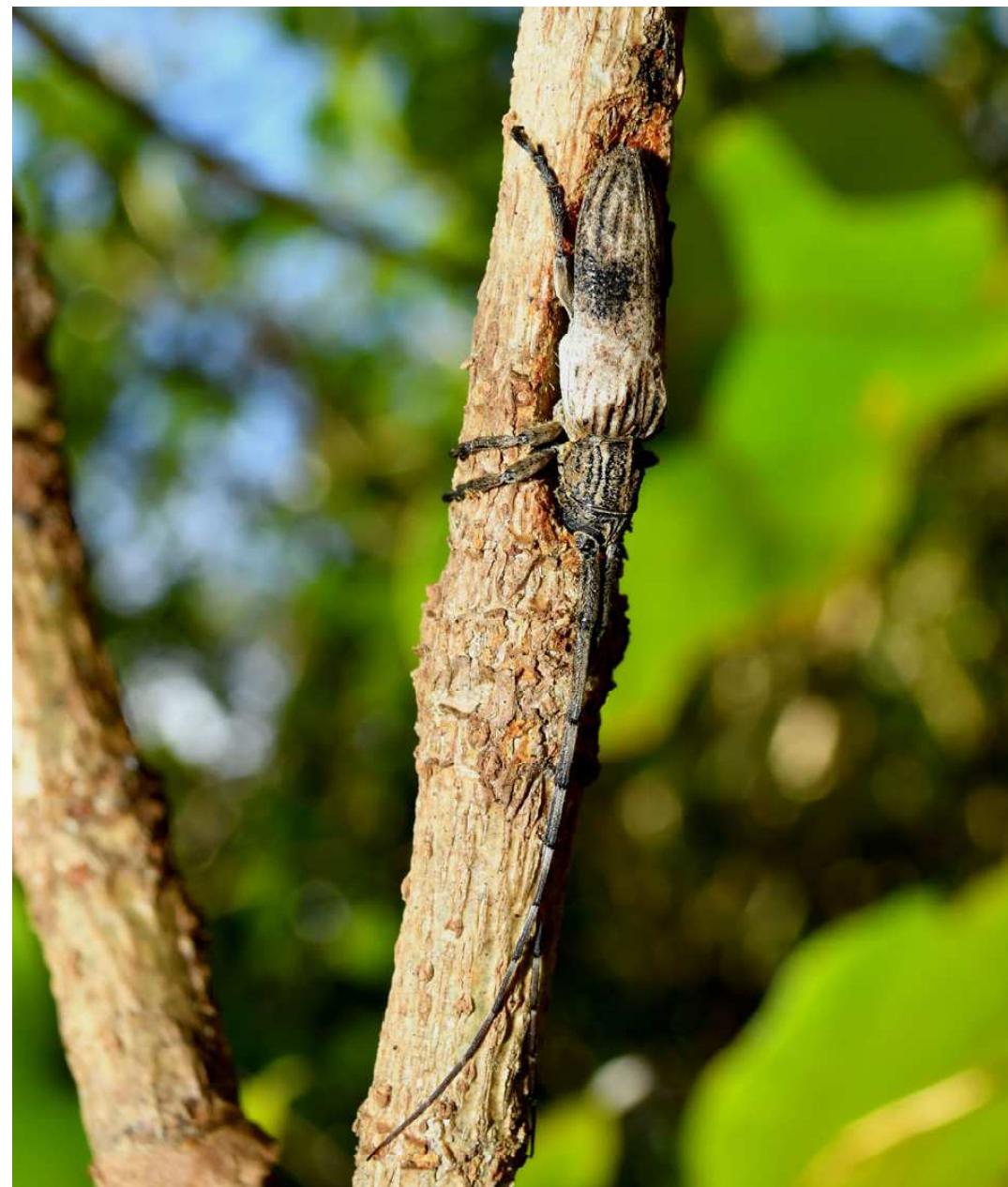
幼虫、成虫とも野菜などの害虫のアブラムシを食べる天敵です。成虫はススキなどの株元で夏越ししています。



美しい甲虫で、幼虫は枯れたエノキやカキノキなどの材を食べ、成虫はこうした植物の葉を食べます。成虫は夏に出現し、美浜町ではこの地域に多いエノキでよく観察できます。

ヤマトタマムシ(エノキの葉上)

2017.8.3 美浜町オレンジライン



タテジマカミキリ

2020.1.30

美浜町オレンジライン

カクレミノなどにつくカミキリムシです。カクレミノの小枝にしがみついて、成虫で越冬します。落ちることはありません。



マツノマダラカミキリ

2021. 6. 26 美浜町大池

松枯れを起こす外来種のマツノザイセンチュウ(体長1mmほどの線虫)を運ぶカミキリムシです。このため大池海岸のクロマツ林はほとんど枯れてしまいました。



ニホンミツバチ（神社に営巣）
2022. 6. 1 美浜町時志

在来のミツバチです。外来のセイヨウミツバチが増加傾向にある中で、美浜町では神社の建物などで毎年のように営巣が観察されています。ミカンなどの花もよく利用できる環境にあるためとも考えられます。



クビキリギス

(ススキの株元で越冬する成虫)

2016.1.7 美浜町布土

ススキなどの株元で成虫で越冬するキリギリスの仲間です。必ず頭を下にしています。ススキの株は断熱性があるので、いろんな昆虫が越冬しています。



ツチイナゴ成虫
2015.10.21 美浜町布土



ツチイナゴ幼虫
2015.8.15 美浜町時志

ススキなどの葉を食べるイナゴの一一種です。ススキなどの株元で成虫で越冬しますが、やはり成虫越冬のクビキリギスとちがって頭は上です。



春～初夏に美しい声でさえずる代表的な野鳥です。オレンジラインでもこのさえずりをよく聞くことができます。

ウグイス
2016.6.2 美浜町オレンジライン



ヒバリ
2016.6.2 美浜町布土上空

農地に多い野鳥で、
春～初夏によく空中
でさえずっています。
美浜町の田園地帯で
もよく観察できます。



キレンジャク
2021.2.25 美浜町布土

2月頃に渡りの途中で立ち寄る個体を観察できることがあります、まれです。ヤドリギ(美浜町では未確認)の実が好きですが、他にミカンなどの果実もついぱみます。



ノスリ
2017.3.4 美浜町時志上空

農地でよく観察できるタカの一種です。留鳥で、ネズミや小鳥などを捕食し、生態系の頂点に立つ生物です。美浜町の布土や時志ではトビに次いでよく観察できるタカです。



イタチの仲間
2018.5.27 美浜町時志

イタチ類は本州にはニホンイタチと外来種のシベリアイタチの2種類が分布していますが、区別は難しいため、ここでは「イタチの仲間」としました。ネズミなどを捕食します。



カヤネズミの巣(ススキ株)
2016.1.4 美浜町布土

ススキやイネなどイネ科植物に鳥の巣のような巣を作る小さなネズミです。夜行性で姿はなかなか観察できませんが、ススキなどの株を探すと巣をみつけることができそうです。